

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成22年2月12日

【四半期会計期間】 第77期第3四半期(自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)

【会社名】 塩水港精糖株式会社

【英訳名】 Ensuiiko Sugar Refining Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 浅倉三男

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋堀留町二丁目9番6号

【電話番号】 東京(03)3249局2381(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役総務人事部長 黒田一晴

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋堀留町二丁目9番6号

【電話番号】 東京(03)3249局2381(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役総務人事部長 黒田一晴

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第76期 第3四半期連結 累計期間	第77期 第3四半期連結 累計期間	第76期 第3四半期連結 会計期間	第77期 第3四半期連結 会計期間	第76期
会計期間	自 平成20年 4月1日 至 平成20年 12月31日	自 平成21年 4月1日 至 平成21年 12月31日	自 平成20年 10月1日 至 平成20年 12月31日	自 平成21年 10月1日 至 平成21年 12月31日	自 平成20年 4月1日 至 平成21年 3月31日
売上高 (百万円)	21,085	20,521	6,858	7,108	26,572
経常利益 (百万円)	786	1,284	201	451	881
四半期(当期)純利益 (百万円)	537	917	88	322	633
純資産額 (百万円)			4,213	4,390	3,647
総資産額 (百万円)			28,421	28,587	27,486
1株当たり純資産額 (円)			156.86	163.47	135.78
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	20.01	34.16	3.31	12.00	23.59
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益 (円)					
自己資本比率 (%)			14.8	15.4	13.3
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	285	332			1,311
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	1,819	504			2,188
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	1,205	83			840
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)			918	953	1,213
従業員数 (名)			93	91	87

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3 従業員数は、就業人員数を記載しております。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

3 【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社における状況

平成21年12月31日現在

従業員数(名)	91
---------	----

(注) 従業員数は就業人員であります。

(2) 提出会社の状況

平成21年12月31日現在

従業員数(名)	47
---------	----

(注) 従業員数は就業人員であります。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
食品事業	5,322	75.9

(注) 1 金額は販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

受注生産は行っておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
食品事業	6,894	4.0
不動産賃貸事業	213	5.8
合計	7,108	3.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて1,100百万円増加し、28,587百万円となりました。これは主に純資産の増加及び時価上昇に伴う投資有価証券の増加によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べて357百万円増加し、24,196百万円となりました。これは主に時価変動に伴うデリバティブ負債の増加及び未払法人税等の増加によるものであります。

また、純資産合計は前連結会計年度末に比べ743百万円増加し、4,390百万円となりました。これは主に四半期純利益の増加及び投資有価証券の時価評価によるその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(2) 経営成績

当第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）におけるわが国経済は、景気は持ち直してきているものの自律性に乏しく、その上、企業収益の低迷、雇用情勢の悪化等により個人消費は冷え込み、引き続き厳しい状況が続きました。

当第3四半期連結会計期間の海外粗糖市況は、10月初24.34セント（ポンド当たりニューヨーク粗糖現物相場、以下同じ。）で始まりましたが、天候不順によるブラジル減産等の影響により12月28日に当期間最高値の27.76セントをつけ、そのまま強基調を維持して27.45セントで当第3四半期連結会計期間を終了しました。国内精糖市況は、東京市場現物相場（上白糖大袋1kg当たり）は10月初169～170円で始まりましたが、海外粗糖相場の高騰により11月21日に174～175円に上昇し、そのまま当第3四半期連結会計期間を終了しました。

かかる状況の中、当第3四半期連結会計期間の当社グループの連結業績につきましては、海外粗糖相場が高騰する中、適切な価格での原糖買付を行ったことや、砂糖製造部門において製造コストの一層の低減を図ったこと、砂糖営業部門において採算を重視した適正価格での販売に努めたことに加え、商標権償却費の大幅な減少等により、売上高、経常利益とも前年同四半期を上回りました。

事業の種類別セグメントの業績につきましては、食品事業部門の売上高は6,894百万円（前年同四半期比262百万円増）、営業利益は638百万円（前年同四半期比251百万円増）、不動産賃貸部門の売上高は213百万円（前年同四半期比13百万円減）、営業利益は25百万円（前年同四半期比19百万円減）となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間の連結売上高は7,108百万円（前年同四半期比249百万円増）、連結経常利益は451百万円（前年同四半期比124.5%増）、連結四半期純利益は322百万円（前年同四半期比262.5%増）となりました。

(3) キャッシュ・フロー

当第3四半期連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費等により資金は増加した一方で、売上債権の増加及び仕入債務の減少等により資金が減少し、40百万円（前年同四半期比271百万円増）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出等により82百万円（前年同四半期比28百万円減）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れの返済による支出等により15百万円（前年同四半期比610百万円減）となりました。

以上により、現金及び現金同等物の期末残高は953百万円（前年同四半期比34百万円増）となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、42百万円であります。

なお、当第3四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、第2四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更並びに重要な設備計画の完了はありません。

また、当第3四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等の計画はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成21年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成22年2月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	35,000,000	同左	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株でありま す。
計	35,000,000	同左		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成21年10月1日～ 平成21年12月31日		35,000		1,750		345

(5) 【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 5,011,000		
	(相互保有株式) 普通株式 3,378,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 26,586,000	26,586	
単元未満株式	普通株式 25,000		
発行済株式総数	35,000,000		
総株主の議決権		26,586	

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式916株が含まれております。

2 当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成21年9月30日の株主名簿により記載しております。

【自己株式等】

平成21年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 塩水港精糖株式会社	東京都中央区日本橋 堀留町2丁目9-6	5,011,000		5,011,000	14.32
(相互保有株式) 株式会社パールエース	東京都中央区日本橋 堀留町2丁目9-6	2,878,000		2,878,000	8.22
(相互保有株式) 南西糖業株式会社	東京都千代田区 岩本町3丁目2-9	500,000		500,000	1.43
計		8,389,000		8,389,000	23.97

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高(円)	152	161	188	186	197	189	169	167	166
最低(円)	144	146	158	152	163	163	153	152	150

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第2部におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日から平成20年12月31日まで)及び前第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日から平成20年12月31日まで)及び前第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	953	1,213
受取手形及び売掛金	2,215	1,559
商品及び製品	948	1,022
仕掛品	168	202
原材料及び貯蔵品	980	1,037
繰延税金資産	195	66
その他	1,388	836
貸倒引当金	-	3
流動資産合計	6,850	5,933
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,323	9,258
減価償却累計額	4,161	3,961
建物及び構築物(純額)	5,161	5,297
機械装置及び運搬具	10,652	10,552
減価償却累計額	8,353	8,091
機械装置及び運搬具(純額)	2,298	2,460
工具、器具及び備品	315	305
減価償却累計額	275	262
工具、器具及び備品(純額)	39	43
土地	5,209	5,209
建設仮勘定	18	15
有形固定資産合計	12,728	13,026
無形固定資産		
のれん	5	20
その他	138	73
無形固定資産合計	143	93
投資その他の資産		
投資有価証券	6,611	6,226
長期貸付金	781	612
繰延税金資産	1,383	1,432
その他	88	161
投資その他の資産合計	8,864	8,433
固定資産合計	21,737	21,553
資産合計	28,587	27,486

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 616	2 1,044
短期借入金	11,664	16,915
未払法人税等	303	28
未払消費税等	149	8
賞与引当金	35	68
繰延税金負債	-	0
その他	1,356	1,058
流動負債合計	14,126	19,123
固定負債		
長期借入金	8,308	3,006
退職給付引当金	1,365	1,352
役員退職慰労引当金	174	197
その他	222	160
固定負債合計	10,069	4,715
負債合計	24,196	23,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	266	266
利益剰余金	6,416	5,634
自己株式	3,116	3,116
株主資本合計	5,316	4,534
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	813	888
繰延ヘッジ損益	112	1
評価・換算差額等合計	926	887
純資産合計	4,390	3,647
負債純資産合計	28,587	27,486

(2)【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	21,085	20,521
売上原価	17,346	16,562
売上総利益	3,738	3,958
販売費及び一般管理費	1 3,225	1 2,962
営業利益	513	995
営業外収益		
受取利息	65	70
受取配当金	170	173
持分法による投資利益	265	303
雑収入	59	46
営業外収益合計	560	593
営業外費用		
支払利息	185	155
支払手数料	35	135
デリバティブ損失	65	7
雑損失	0	6
営業外費用合計	287	304
経常利益	786	1,284
特別利益		
投資有価証券売却益	0	1
その他	-	6
特別利益合計	0	8
特別損失		
投資有価証券評価損	30	-
役員退職慰労金	3	17
その他	-	4
特別損失合計	33	22
税金等調整前四半期純利益	753	1,270
法人税、住民税及び事業税	245	404
法人税等調整額	29	51
法人税等合計	215	353
四半期純利益	537	917

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	6,858	7,108
売上原価	5,488	5,669
売上総利益	1,369	1,438
販売費及び一般管理費	1,104	997
営業利益	265	440
営業外収益		
受取利息	22	23
受取配当金	0	2
持分法による投資利益	34	103
為替差益	45	-
デリバティブ利益	-	36
雑収入	2	2
営業外収益合計	106	168
営業外費用		
支払利息	63	43
支払手数料	11	113
デリバティブ損失	95	-
為替差損	-	0
雑損失	0	0
営業外費用合計	171	157
経常利益	201	451
特別利益		
投資有価証券売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
投資有価証券評価損	2	-
投資有価証券売却損	-	0
役員退職慰労金	-	0
その他	-	0
特別損失合計	2	0
税金等調整前四半期純利益	199	450
法人税、住民税及び事業税	156	168
法人税等調整額	45	40
法人税等合計	110	128
四半期純利益	88	322

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	753	1,270
減価償却費	667	551
のれん償却額	15	15
退職給付引当金の増減額(は減少)	4	12
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	12	22
賞与引当金の増減額(は減少)	30	32
貸倒引当金の増減額(は減少)	4	3
受取利息及び受取配当金	235	243
支払利息	185	155
為替差損益(は益)	6	4
持分法による投資損益(は益)	265	303
投資有価証券売却損益(は益)	0	1
投資有価証券評価損益(は益)	30	-
投資その他の資産評価損	-	0
売上債権の増減額(は増加)	737	656
たな卸資産の増減額(は増加)	107	163
その他の資産の増減額(は増加)	119	471
仕入債務の増減額(は減少)	146	428
未払消費税等の増減額(は減少)	66	141
その他の負債の増減額(は減少)	215	209
小計	461	358
利息及び配当金の受取額	251	255
利息の支払額	182	159
法人税等の支払額	244	122
営業活動によるキャッシュ・フロー	285	332
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	689	259
無形固定資産の取得による支出	0	106
投資有価証券の取得による支出	1,144	-
投資有価証券の償還による収入	130	-
投資有価証券の売却による収入	13	16
投資その他の資産の増減額(は増加)	0	65
貸付けによる支出	330	470
貸付金の回収による収入	201	248
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,819	504

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	6,210	8,517
短期借入金の返済による支出	4,520	13,887
長期借入れによる収入	1,300	7,000
長期借入金の返済による支出	1,649	1,578
自己株式の取得による支出	0	0
配当金の支払額	134	134
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,205	83
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	4
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	336	260
現金及び現金同等物の期首残高	1,255	1,213
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,918	1,953

【継続企業の前提に関する事項】

当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
該当事項はありません。

【表示方法の変更】

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)
該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
固定資産の減価償却費の算定方法 固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見 積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期 間按分する方法によっております。 なお、定率法を採用している資産については、 連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分し て算定する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
<p>1 偶発債務</p> <p>連結会社以外の会社の金融機関からの借入金に対する債務保証</p> <p> 太平洋製糖㈱ 1,462百万円</p> <p>連結会社以外の会社の消費税の支払に対する再保証</p> <p> 太平洋製糖㈱ 120百万円</p> <p>2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第3四半期連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が、当第3四半期連結会計期間末の残高に含まれております。</p> <p> 受取手形 9百万円</p> <p> 支払手形 39百万円</p>	<p>1 偶発債務</p> <p>連結会社以外の会社の金融機関からの借入金に対する債務保証</p> <p> 太平洋製糖㈱ 1,685百万円</p> <p>連結会社以外の会社の消費税の支払に対する再保証</p> <p> 太平洋製糖㈱ 120百万円</p> <p>2</p>

(四半期連結損益計算書関係)

第3四半期連結累計期間

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	
1 販売費及び一般管理費の主なもの		1 販売費及び一般管理費の主なもの	
製品保管輸送費	779百万円	製品保管輸送費	764百万円
販売促進奨励金	643 "	販売促進奨励金	546 "
給料手当賞与金	428 "	給料手当賞与金	447 "
賞与引当繰入額	30 "	賞与引当繰入額	32 "
退職給付費用	59 "	退職給付費用	51 "
役員退職慰労引当金繰入額	37 "	役員退職慰労引当金繰入額	34 "
減価償却費	189 "	減価償却費	46 "

第3四半期連結会計期間

前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	
1 販売費及び一般管理費の主なもの		1 販売費及び一般管理費の主なもの	
製品保管輸送費	268百万円	製品保管輸送費	270百万円
販売促進奨励金	233 "	販売促進奨励金	219 "
給料手当賞与金	123 "	給料手当賞与金	134 "
賞与引当繰入額	30 "	賞与引当繰入額	32 "
退職給付費用	27 "	退職給付費用	17 "
役員退職慰労引当金繰入額	11 "	役員退職慰労引当金繰入額	9 "
減価償却費	73 "	減価償却費	13 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金 918百万円 現金及び現金同等物 918百万円	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金 953百万円 現金及び現金同等物 953百万円

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成21年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日
 至平成21年12月31日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	35,000,000

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	8,139,406

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成21年6月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	149	5	平成21年3月31日	平成21年6月29日

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効
 力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

	食品事業 (百万円)	不動産賃貸事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,632	226	6,858		6,858
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	6,632	226	6,858		6,858
営業利益	386	45	431	(166)	265

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	食品事業 (百万円)	不動産賃貸事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,894	213	7,108		7,108
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	6,894	213	7,108		7,108
営業利益	638	25	664	(223)	440

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	食品事業 (百万円)	不動産賃貸事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	20,415	669	21,085		21,085
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	20,415	669	21,085		21,085
営業利益	926	122	1,049	(536)	513

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	食品事業 (百万円)	不動産賃貸事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	19,855	665	20,521		20,521
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	19,855	665	20,521		20,521
営業利益	1,505	125	1,631	(635)	995

(注) 1 事業区分は、製品系列により決定しております。

2 各事業の主要製品

事業区分	主要製品
食品事業	砂糖、オリゴ糖、サイクロデキストリン
不動産賃貸事業	工場賃貸、ニューESRビル賃貸

3 不動産賃貸事業のうち、ニューESRビル賃貸については平成21年9月より開始しております。

4 追加情報

前第3四半期連結累計期間

当社及び連結子会社におきまして、第1四半期連結会計期間より、法人税法の改正を契機として資産の利用状況等を見直した結果、機械装置の耐用年数を一部変更しております。この変更に伴い当第3四半期連結累計期間の不動産賃貸事業の営業利益が57百万円減少しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)並びに前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する在外支店及び連結子会社がないため該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)並びに前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

(有価証券関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成21年12月31日)

時価のある其他有価証券が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、当該有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額に前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が見られます。

其他有価証券で時価のあるもの

区分	取得原価(百万円)	四半期連結貸借対照表計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	4,454	3,273	1,181
債券	1,000	884	115
その他			
計	5,454	4,157	1,296

(デリバティブ取引関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成21年12月31日)

対象物が通貨及び商品であるデリバティブ取引が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、当該取引の契約額その他の金額に前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益

(1) 通貨関連

種類	契約額等(百万円)	時価(百万円)	評価損益(百万円)
為替予約取引			
売建 米ドル	360	349	11
買建 米ドル	45	45	0
合計			12

(注) 時価の算定方法は、当第3四半期連結会計期間末の先物相場の終値を使用しており、評価損益は四半期連結損益計算書に計上しております。

(2) 商品関連

種類	契約額等(百万円)	時価(百万円)	評価損益(百万円)
粗糖先物取引			
売建	680	897	216
買建	822	907	85
合計			130

(注) 時価の算定方法は、当第3四半期連結会計期間末の先物相場の終値を使用しており、評価損益は四半期連結損益計算書に計上しております。また契約額等はデリバティブ取引のリスクそのものを示すものではありません。

なお、ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は記載しておりません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
163.47円	135.78円

2 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額

第3四半期連結累計期間

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益 20.01円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益 34.16円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(百万円)	537	917
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	537	917
普通株主に帰属しない金額の主要な内訳(百万円)		
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,861	26,860

第3四半期連結会計期間

前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益 3.31円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。	1株当たり四半期純利益 12.00円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注) 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(百万円)	88	322
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	88	322
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,861	26,860

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年 2月12日

塩水港精糖株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 内 田 英 仁 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山 口 俊 夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている塩水港精糖株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日から平成20年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成21年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、塩水港精糖株式会社及び連結子会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年2月12日

塩水港精糖株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 内 田 英 仁 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 齊 藤 直 人 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山 口 俊 夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている塩水港精糖株式会社の平成21年4月1日から平成21年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、塩水港精糖株式会社及び連結子会社の平成21年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。